

(概況)

平成17年の大分県鉱工業生産指数は、119.8で前年比6.6%と4年連続の上昇となった。

全国生産指数は101.3で前年比1.1%と3年連続の上昇となった。九州は103.6で前年比▲1.7%と3年ぶりの低下となった。

本県の鉱工業の動向について、生産指数を四半期別にみると、Ⅱ期は前期比で低下したものの、Ⅰ期、Ⅲ期、Ⅳ期は前期比で上昇した。業種別にみると、前年に比べプラスチック製品工業、電気機械工業、金属製品工業等11業種が上昇し、食料品・たばこ工業、精密機械工業、繊維工業等7業種が低下した。特に電気機械工業の1業種で上昇寄与全体の76.6%を占めている。財別では最終需要財が6年連続の上昇となり、生産財は2年ぶりの上昇となった。

出荷指数は、123.5で前年比2.2%となり、4年連続の上昇となった。業種別にみると、前年に比べプラスチック製品工業、金属製品工業、家具工業等11業種が上昇し、非鉄金属工業1業種が横ばい、食料品・たばこ工業、繊維工業、精密機械工業等6業種が低下した。

在庫指数は、101.6で前年比9.7%となり、4年ぶりの上昇となった。業種別にみると、一般機械工業、プラスチック製品工業、繊維工業等9業種で上昇し、食料品・たばこ工業、その他製品工業、輸送機械工業等8業種が低下した。

【生産指数及び対前年比の推移】

生産指数(平成12年=100)

